

文書はだれが作成し、どうやって保管したのか
前近代の文書の記録と管理＝アーカイブを担当した
実務官人に注目し、古代から中世への移行期の実態
と、中世公家政権の成立事情を明らかにする！

古代中世の 文書管理と官人

井上幸治 著

(立命館大学非常勤講師)

2016年2月25日刊行

定価 (本体 9,000 円+税)

A5 判・上製・カバー装・480 頁 ISBN978-4-8406-2213-4 C3021 ¥9000E

- 前例を重視する前近代日本の文書行政において、きわめて重要だった発給文書を、だれが記録し、どのように管理したのか。
- 記録・管理の中心を担った太政官の実務官人である外記と官吏に注目し、その組織・官人の構造を具体的に解明する。
- 小槻・清原・中原氏など、実務官人の官職世襲化を具体的に検討。
- 「官司請負制」を批判的に検証し、古代の律令官僚制から中世国家の形成へと変化する様相を明らかにする。
- 文書のアーカイブの歴史という視点から、古代から中世にかけての朝廷政治の構造を叙述する。
- 行政機構のみならず、経済的側面をも加味した新視点による論考。
- 本書のテーマに深くかかわるコラム3本も収録。

八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8

Tel:03-3291-2961 / Fax:03-3291-6300 pub@books-yagi.co.jp <http://www.books-yagi.co.jp>

【目次】

序にかえて

第一部 公家官僚制への変化

第一章 太政官弁官局の実務職員（史）の変遷と背景

はじめに

第一節 復元補任表案

第二節 官吏構成の変化と要因

むすび

〔コラム1〕大夫史惟宗政孝について

第二章 平安時代中後期における外記・官吏のライフサイクル

はじめに

第一節 在任中の働きと役割

第二節 任官以前と叙爵位後の活動

第三節 平安時代後期の官吏編成

第三章 承久の乱後の官人編成

第一節 内乱後の変化

第二節 変化の要因と鎌倉幕府

第三節 承久の乱後の再編

第四節 家政機関における変化

小 結

第二部 平安時代の文簿保管

第四章 平安時代前中期における文簿保管策

はじめに

第一節 外記庁での文簿保管

第二節 文簿保管策の弛緩とその対策

おわりに

第五章 私有官文書群の形成

はじめに

第一節 十世紀の文書発給記録

第二節 長和四年宣旨の背景とその効果

第三節 官文書の蓄積

むすびにかえて

〔コラム2〕官文殿のいま

第六章 平安時代中後期の文殿

はじめに

第一節 文殿の具体像

第二節 文殿に出仕した人々

第三節 文殿の活動

むすびにかえて

第七章 摂関家における文簿保管

はじめに

第一節 符・牒から下文・御教書

第二節 公家様文書の作成と保管

第三節 保管場所

むすびにかえて

第三部 文簿保管と官職の世襲

第八章 家業と官職の関係

はじめに

第一節 家業の論理

第二節 家業と官職の関係

第三節 大夫外記・大夫史と博士

まとめにかえて

補論 小槻山君と小槻宿禰

はじめに

第一節 系図について

第二節 今雄と糸平

第三節 「小槻宿禰今雄」の創出

第四節 『今昔物語集』の異説

むすびにかえて

第九章 官務小槻氏の確立

はじめに—研究史の整理—

第一節 大夫史の出現と定着

第二節 摂関家との関係を深める

第三節 小槻氏と惟宗氏

第四節 六位官人の編成と所領の獲得

むすびにかえて

〔コラム3〕若狭国富庄と若狭小槻氏

第十章 局務中原・清原氏の確立

はじめに

第一節 博士であること

第二節 外記による勘申—松蘭説の検討—

第三節 外記日記の盗難

第四節 清原氏の衰退と中原氏の世襲

むすびにかえて—大夫外記二人体制へ—

第十一章 「官司請負制」の内実

はじめに

第一節 大夫史の業務遂行

第二節 官庁の運営

第三節 六位官人の編成

むすびにかえて

終 章

索 引

【ご注文受付中】 ご注文は下記にご記入の上、最寄りの書店か、または小社までお申し込み下さい。

申 込 書	井上幸治 著	2016年2月25日刊行	取扱店（番線印）
	古代中世の文書管理と官人	[] 冊	
	ISBN978-4-8406-2213-4 C3021 ¥9000E 定価（本体9,000円＋税）		
	お名前（ふりがな）	TEL	
	ご住所 〒	FAX	
		E-MAIL	